

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 許出願公開番号

特開2000-201793

(P2000-201793A)

(43) 公開日 平成12年7月25日 (2000.7.25)

(51) IntCl⁷

識別記号

F I

キーワード (参考)

A 4 7 G 23/032

A 4 7 G 23/032

3 B 1 1 5

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平11-42068

(22) 出願日

平成11年1月11日 (1999.1.11)

(71) 出願人 599021767

大浦 広己

長崎県平戸市木引田町460番地

(72) 発明者 大浦 広己

長崎県平戸市木引田町460番地

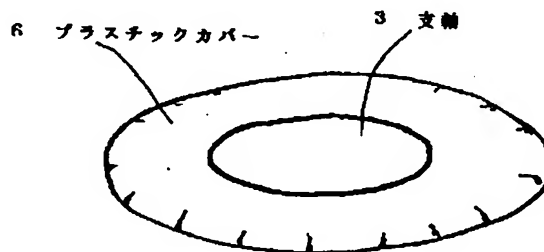
Fターム (参考) 3B115 AA04 AA30 BB11 DC03 DC14

(54) 【発明の名称】 発光するUFOコースター具

(57) 【要約】

【課題】 コースター具に付いた水滴を吸収し、ガラスコップなどの重さによって光を放つ発光するUFOコースター具を提供する。

【解決手段】 アクリル板〔1〕上部に、発光ダイオード〔2〕の配線を設け支軸〔3〕の中央部に、スイッチ〔4〕と、ボタン電池〔5〕を取り付け、プラスチック〔6〕カバーをアクリル板〔1〕に重ねることで、ガラスコップの重さによって、スイッチ〔4〕がはいる、光を放つと同時に、プラスチック〔6〕カバーの中央部に吸収シート〔7〕を設けたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】円形アクリル板〔1〕の上部に、発光ダイオード〔2〕の配線を設け、支軸〔3〕の中央に、スイッチ〔4〕とボタン電池〔5〕を取り付け、円形状のプラスチック〔6〕カバーを取り付けた発光するUFOコースター具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の詳細な説明】この発明は、光を発光するUFOコースター具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のコースター具は、布製品、ビニール、コルク、紙、木製品にデザインを施した物が多く、氷を入れたガラスコップの水滴が溜って、コースター具が付着したり、カビが斑点のように付着して目立っていた。したがって、コースター具が、水滴を吸収したり、光を放つようなコースター具がなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これは次のような欠点があった。

イ、コースター具を使用したときは、水滴が溜り、付着し見苦しかった。

ロ、布地に付着した斑点は、洗濯してもとれなく、生地を傷める原因になり、変色したりする原因になっていた。

ハ、光を放つコースター具がなかった。

本発明は、以上の欠点を解決するためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】薄いアクリル板〔1〕の上部に、発光ダイオード〔2〕を設ける。その中心部にスイッチ〔4〕とボタン電池〔5〕を設け、プラスチック〔6〕カバーを取り付ける。」本発明は、以上の構成よりなる発光するUFOコースター具である。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を説明する。

〔イ〕円形状の薄いアクリル板〔1〕上部に、発光ダイオード〔2〕の配線を設ける。

〔ロ〕発光ダイオード〔2〕の中心部に、スイッチ〔4〕とボタン電池〔5〕をとりつけ、その上に、銅板〔9〕を乗せる。

〔ハ〕半透明の円形状のプラスチック〔6〕カバーを取り付ける。

10 〔ニ〕カバーの中央部に吸収シート〔7〕のシールを張りつける事により、水滴を吸収する。

〔ホ〕コースター具の中央部に、置かれたガラスコップの重みにより、中心部のスイッチ〔4〕が入り、電流が流れ光を放つ事ができ、コップを取ると、バネ〔8〕の力により、スイッチ〔4〕が切れる。

本発明は、以上の構成よりなっている。

【0006】

【発明の効果】本発明を使用することによって、従来のコースター具になかった光を放ちながら、しかも、水滴まで吸収して、付着したりする事もない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図

【図2】本発明の分解斜視図

【図3】本発明の断面図

【図4】本発明の使用状態を示す斜視図

【符号の説明】

1 アクリル板

2 発光ダイオード

3 支軸

30 4 スイッチ

5 ボタン電池

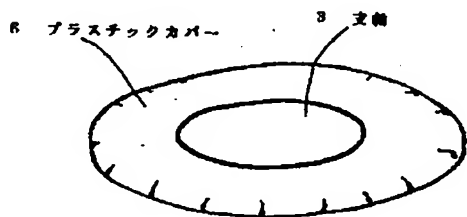
6 プラスチックカバー

7 吸収シート

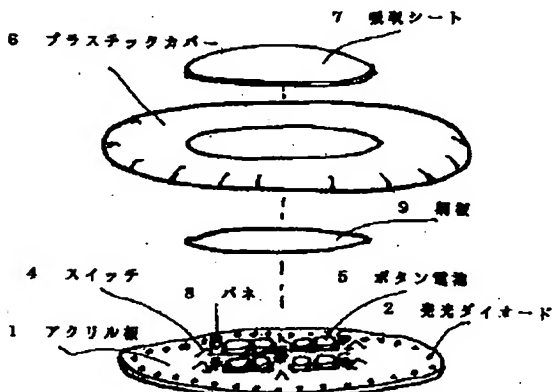
8 バネ

9 銅板

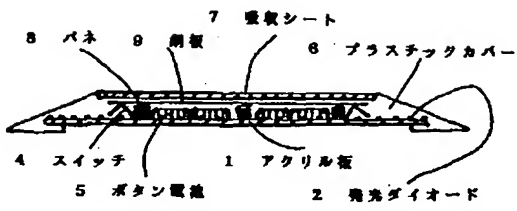
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

